

一般社団法人52Hz 2024年度予算案
(2024年3月19日から2025年2月28日まで)

科目	当年度予算	前年度(当年度が初年度のためなし)	備考
I. 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
事業収益		—	
自主事業収益	200000	—	留学企業のプロモーション。
受託事業収益	0	—	
受取助成金	5666000	—	三菱みらい育成財団助成金
受取寄付金	2178592	—	クラウドファンディング
雑収益	500	—	普通預金金利
受取利息		—	
雑収入		—	
経常収益計	8045092	—	
(2) 経常費用		—	
事業費		—	
役員報酬	960000	—	理事計5名(代表理事含む)。代表理事は無報酬。
旅費交通費	150,000	—	年1~2回実施するオフラインイベント実施にあたる運営スタッフの旅費交通費。メンターシッププログラムの広報のための出前授業を1~2回実施する。
外注費	2,993,740	—	学生メンター(約20名)や外部講師の業務委託
会場費	400,000	—	コミュニティ: オフラインイベント参加のべ100人、レンタルスペースなど1人あたりコスト1000円と仮定。 アクセラプログラム: 学生メンターの交流会・最終発表会の実施等。 メンターシッププログラムは原則オンラインで実施するが、対面での交流の機会も確保する
消耗品費	20000	—	名刺代など
通信費	1,316,000	—	コミュニケーションツール利用料(LINE公式アカウント: 月額¥5,000, Notionプラス: 月額\$8×15ユーザー, zoomビジネス: 年間¥220×4ユーザー) - オンラインでのコミュニティ構築を万全に行うため、コミュニケーションツールを有効活用する クリエイティブツール利用料(canvaプロ: 年間\$120×50ユーザー) - プロダクトデザイン・プレゼン資料作成などに必要となるデザインツールを誰もが最大限活用できる体制を整える
研修費	200,000	—	専門家と連携して行う事前研修のための経費、メンターやプログラム責任者の学習のための書籍購入費。
販売促進費	95,000	—	コミュニティ内でのアンケート回答やボランティア活動活性化のための謝礼品など。
その他費用		—	
事業費計	6134740	—	
管理費		—	
租税公課	112000	—	一般社団法人登記費用
通信費	17400	—	クラウドファンディングの支援者へのお礼状郵送や、理事間での書類郵送にかかる費用。
会議費	75,000	—	年5回程度実施する、普段リモートで共同する組織関係者のオフラインでの戦略会議。
支払手数料	9900	—	バーチャルオフィス賃料等
その他費用		—	
管理費計	214300	—	
経常費用計	6349040	—	
当期経常増減額	1696052	—	
2. 経常外増減の部		—	
(1) 経常外収益	0	—	
経常外収益計		—	
(2) 経常外費用		—	
経常外費用計	0	—	
当期経常外増減額	0	—	
税引前当期一般正味財産増減額	1696052	—	
法人税、住民税および事業税	50000	—	
当期一般正味財産増減額	1646052	—	
一般正味財産期首残高	0	—	
一般正味財産期末残高	1646052	—	
II. 指定正味財産増減の部		—	
当期指定正味財産増減額	0	—	
指定正味財産期首残高	0	—	
指定正味財産期末残高	0	—	
III. 正味財産期末残高	1646052	—	

【2024年度予算総括】当年度は一般社団法人化初年度として、クラウドファンディング(約218万円)と三菱みらい育成財団からの助成金(約567万円)を主な財源とし、総額約805万円、事業費約613万円の事業規模で運営を行います。

【次年度予算に関する注釈】2025年度は以下の変更を予定しています:

- 収入面: 52Hz Acceleratorの一部有料化により、年間約250万円の事業収入を見込む

- 新規事業: 「海外大生オフィスアワー」を正式ローンチ

- 中長期展望: 2027年度までに年間事業収入600万円を目標とし、助成金への依存度を段階的に低下。収益構造の確立により、持続可能な組織運営体制の構築を目指す。

本予算案は、初年度の基盤整備と次年度以降の収益化に向けた投資的な性格を持つものとなっています。